

【特別展】没後50年記念

福田平八郎 かける × 琳派

Special 50th Memorial Exhibition:

Fukuda Heihachirō × The Rimpa School

2024年
9/29(日)-12/8(日)

主宰：山種美術館、朝日新聞社、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁



福田平八郎《芥子花》1940(昭和15)年頃
山種美術館 [画像請求 No. 3]



福田平八郎《紅白餅三鶴》
1960(昭和35)年頃 個人蔵 [画像請求 No. 6]

福田平八郎《筍》1947(昭和22)年 山種美術館 [画像請求 No. 5] →



斬新な色と形を追求した日本画家・福田平八郎(1892-1974)。

当館では没後50年を記念し、平八郎の画業をたどる特別展を12年ぶりに開催します。

大分に生まれた平八郎は、京都に出て京都市立美術工芸学校、京都市立絵画専門学校に学び、1919(大正8)年には帝展に初入選を果たしました。大正期はモチーフを入念に観察し、写実的に表した作品を制作していましたが、昭和に入ると、単純な色面と大胆な構図による独自の芸術を確立していきます。

本展では、徹底した細密描写により写実を極めた大正期の代表作《牡丹》から、造形の特徴を見事に捉えた筍とデザイン的な竹の葉が融合した《筍》、丸みを帯びた餅と直線的な形の折り鶴との対比が見どころの《紅白餅三鶴》(個人蔵)、絶筆とされる《彩秋遊鸞》(個人蔵)まで、初期から晩年にいたる優品の数々を一堂に展示します。

また、平八郎に影響を与えた古典として、琳派にも着目します。デザインセンスが光る伝 俵屋宗達 たわらやそうたつ《槇楓図》、装飾的な画面構成と緻密な描写を融合させた酒井抱一 さかいほういつ《秋草鶉図》【重要美術品】をはじめ、平八郎も愛した琳派の造形の多彩な魅力をご堪能ください。

自身の作風を「写実を基本にした装飾画」と語った近代の福田平八郎と、意匠性や装飾性に富んだ江戸時代の琳派。二つの芸術世界が時空を超えて交差する特別な機会をお楽しみいただければ幸いです。

※所蔵先表記のない作品は、すべて山種美術館蔵。



伝 俵屋宗達《槇楓図》17世紀(江戸時代)
山種美術館 [画像請求 No. 10]



酒井抱一《秋草鶉図》【重要美術品】
19世紀(江戸時代) 山種美術館
[画像請求 No. 13]

本展のみどころ

みどころ①

12年ぶりの福田平八郎展!

当館で平八郎をテーマとした展覧会を開催するのは12年ぶり! 没後50年という節目の年に、平八郎の作品をたっぷりとお楽しみください!



福田平八郎《鮎》1940(昭和15)年
山種美術館 [画像請求 No. 2]



福田平八郎《彩秋》1943(昭和18)年
山種美術館 [画像請求 No. 4]

みどころ②

初期から晩年までの名品が集結!

大正期の傑作《牡丹》から絶筆とされる《彩秋遊鸞》(個人蔵)まで、幅広い時代の作品を展示! 時代ごとの表現の違いをご覧ください!



左: 福田平八郎《牡丹》
1924(大正13)年 山種美術館
[画像請求 No. 1]

右: 福田平八郎《彩秋遊鸞》
1971(昭和46)年 個人蔵
[画像請求 No. 7]
※Web 掲載不可

みどころ③

琳派も登場! 一度で二度楽しめる展覧会!

伝 俵屋宗達《楨楓図》、酒井抱一《秋草鶉図》【重要美術品】、鈴木其一《四季花鳥図》など、琳派の名品が勢ぞろい! また、日本画家・安田鞆彦旧蔵の俵屋宗達《狗子図》(個人蔵)も登場する貴重な機会です!

左: 俵屋宗達《狗子図》17世紀(江戸時代) 個人蔵 [画像請求 No. 8]

※Web 掲載不可

右: 俵屋宗達(絵)・本阿弥光悦(書)《四季草花下絵和歌短冊帖》(18枚のうち)
17世紀(江戸時代) 山種美術館 [画像請求 No. 9]



■展覧会名: 【特別展】没後50年記念 福田平八郎×琳派

■会 期: 2024年9月29日(日)~12月8日(日) ■開館時間: 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休 館 日: 月曜日 [10/14(月・祝)、11/4(月・振休)は開館、10/15(火)、11/5(火)は休館]

■入 館 料: 一般1400円(1200円)、大学生・高校生1100円(1000円)、中学生以下無料(付添者の同伴が必要です)

※障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1名)は1200円(1000円)、

上記のいずれかのうち大学生・高校生1000円(900円) ※()内は前売料金

きもの特典 きものでご来館のお客様は、一般200円引き、大学生・高校生100円引き。 ※複数の割引・特典の併用はできません。

■主な出品作品: 約50点 ※出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。 ※所蔵表記のない作品は山種美術館蔵。





福田平八郎:《桃と女》、《牡丹》、《春》、《遊鮎》、《鮎》、《芥子花》、《桐双雀》、《彩秋》、《筍》、《すすき》、《花菖蒲》、《鯉》、
《紅白餅三鶴》(個人蔵)、《彩秋遊鸞》(個人蔵) ほか

俵屋宗達《狗子図》(個人蔵)、俵屋宗達(絵)・本阿弥光悦(書)《鹿下絵新古今集和歌巻断簡》、《四季草花下絵和歌短冊帖》、
伝 俵屋宗達《楨楓図》、酒井抱一《秋草鶉図》【重要美術品】、《飛雪白鷺図》、《菊小禽図》、《月梅図》、
鈴木其一《四季花鳥図》、《牡丹図》、酒井鶯蒲《紅白蓮・白藤・夕もみぢ図》ほか

■会 場: 山種美術館(〒150-0012東京都渋谷区広尾3-12-36)

■問い合わせ: 050-5541-8600(ハローダイヤル 電話受付時間: 9:00~20:00)

■公式 HP: <https://www.yamatane-museum.jp/>

■公式 SNS:    

※ 出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。 ※ 本展周知目的でない画像の利用や転載はお断りします。

※ 本展周知で作品画像等の使用を希望される場合は、別途広報素材一覧をご参照いただくか、下記までお問い合わせください。

報道関係の方からの
本件に関する
お問合せ先

「福田平八郎×琳派」広報事務局(TMオフィス内) / 担当: 馬場、永井、西坂

〒541-0046 大阪府中央区平野町4-7-7 平野町イシカワビル

Mobile: 090-6065-0063(馬場) 090-5667-3041(永井) Tel: 050-1807-2919

Fax: 06-6231-4440

E-mail: yamatane-pr@tm-office.co.jp